

# 1.環境報告の基本的事項

- ・編集方針
- ・環境部門長コミットメント
- ・関西電力グループ環境行動方針
- ・エコ・アクション

## 編集方針

本レポートは、環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）や、GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード2016」および「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン（第4版）」による標準開示項目を参考に、当社グループの環境への取組みについてご理解いただけるよう、報告内容を検討しました。なお、情報の網羅性の観点からWebでの報告を選択しています。

### ○報告期間

**2017年4月1日～2018年3月31日**

※一部将来の活動予定についても記載しています。

### ○報告対象

環境面

（経済面、社会面は関西電力グループレポート**2018**に掲載）

### ○参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」

GRI「GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード2016」  
「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン（第4版）」

### ○報告組織の範囲

関西電力および関西電力グループ会社

## 編集方針

### ■ 関西電力および連結決算対象子会社69社における捕捉率 (2018年3月末時点)

(1) 事務所における電気使用量など具体的な環境負荷データを把握し、本レポートで報告しているもの ⇒ **96.0%**

#### <説明>

関西電力および連結決算対象子会社**69**社のうち、エコ・アクション\*を実施している会社の比率（売上高の比率）としました。

#### ・ 具体的な算定方式

(関西電力の**2017**年度売上高)  
+ (2018年3月末現在エコ・アクションを実施している  
連結決算対象子会社**41**社の**2017**年度売上高)

---

(関西電力の**2017**年度売上高)  
+ (連結決算対象子会社**69**社の**2017**年度売上高)

\*エコ・アクション  
事務所電気使用量削減、生活用水使用量削減など環境に関する  
具体的行動計画

## 編集方針

(2) 環境に関する一般的な取組みを把握し、本レポートで報告しているもの ⇒ 97.9%

### <説明>

関西電力および連結決算対象子会社**69**社のうち、法的リスク管理など環境取組み推進の基本的枠組みである関西電力グループ環境管理委員会に参加している会社の比率（売上高の比率）としました。

#### ・ 具体的な算定方式

(関西電力の**2017**年度売上高)

+ (2018年3月末現在グループ環境管理委員会に参加している連結決算対象子会社**47**社の**2017**年度売上高)

(関西電力の**2017**年度売上高)

+ (連結決算対象子会社**69**社の**2017**年度売上高)

### ○作成部署・問合せ先

関西電力株式会社 エネルギー・環境企画室 環境計画グループ

郵便番号 : 530-8270

所在地 : 大阪市北区中之島3丁目6番16号

電話番号 : 06-7501-0135

FAX番号 : 06-6441-3549

## 環境部門長コミットメント

2020年以降の温室効果ガス削減の国際枠組みであるパリ協定や、2030年に向けた「持続可能な開発目標（SDGs）」等、環境取り組みへの要請が高まる中、当社グループは、環境との関わりが深いエネルギー事業者として、これらの課題解決に積極的に取り組みます。

地球温暖化問題については、長期的には大幅な低炭素化が必要であり、安全を最優先とした原子力発電の活用や火力発電の熱効率の維持・向上、再生可能エネルギーの開発により、バランスの取れた電源構成をめざすとともに、お客さまの省エネ・省コスト・省CO<sub>2</sub>に貢献する情報・サービスのご提供、スマートグリッドの構築等、需給両面の取り組みを推進し、エネルギー分野の低炭素化の取り組みをリードしてまいります。

循環型社会の実現に向けては、ゼロエミッション達成のための取り組みや、PCB廃棄物の法定期限内での全量処理などに着実に取り組んでいきます。また、お客さまや地域社会との環境コミュニケーションの充実を図り、信頼獲得につなげてまいります。



関西電力株式会社  
エネルギー・環境企画室  
環境企画担当室長

河上 豊

## 関西電力グループ環境行動方針

関西電力グループは、「関西電力グループCSR行動憲章」に基づき、環境との関わりが深いエネルギー事業者として、社会から信頼される企業グループであるために、低炭素社会の実現に向けた挑戦、循環型社会の実現に向けた活動の展開、地域環境保全対策の推進に取り組むとともに、環境管理および環境コミュニケーションの推進に努めます。



### 低炭素社会の実現に向けた挑戦

- 電気の低炭素化の取組み
- スマートグリッドの構築
- お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO<sub>2</sub>への貢献
- 海外での取組み
- 技術開発の取組み
- バリューチェーンにおける取組み
- CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス低減の取組み



### 循環型社会の実現に向けた活動の展開

- ゼロエミッション達成に向けた積極的な3R活動の展開
- PCBの安全・確実な全量処理の推進
- グリーン調達への推進



### 地域環境保全対策の推進

- 大気汚染防止対策、水質汚濁防止対策等
- 有害化学物質の厳正な管理および低減に向けた取組み
- 生物多様性の保全に配慮した事業活動



### 環境管理および環境コミュニケーションの推進

- ISO14001システムを踏まえた環境管理システムによる継続的な改善および法令の遵守
- 地域社会やお客さまとの環境意識啓発活動の積極的な展開および環境情報の積極的な公開



# エコ・アクション(年度目標・年度実績)【当社単体】

(自己評価) ○:目標達成 △:概ね達成 ×:目標未達成 -:評価なし

| 項目   | 目標   | 2017年度実績   | 自己評価 | 今後の取組み  | 関連ページ             |
|--|--|--|------|---|-------------------|
| <b>低炭素社会の実現に向けた挑戦</b>  |  |  |      |   |                   |
| CO <sub>2</sub> 排出抑制取組みの推進                                     | 電気事業全体で2030年度に0.37kg-CO <sub>2</sub> /kWh程度* | [電気事業低炭素社会協議会2016年度] 0.516kg-CO <sub>2</sub> /kWh*<br>[当社2017年度] (0.418kg-CO <sub>2</sub> /kWh* <sup>2</sup> )               | -    | ●安全を最優先とした原子力発電所運転や火力発電所の熱効率の維持・向上、再生可能エネルギーの開発・普及などに取り組むとともに、社会全体の電化率の向上も推進することにより、エネルギー分野の低炭素化の取組みをリードしていく。 | P51<br>P52<br>P53 |
| 安全を最優先とした原子力発電所の運転   | 安全を最優先とした原子力発電所の運転に向けた取組みの推進                 | 再稼動したプラントの安全・安定運転に努めた。<br>新規制基準に適合した安全性向上対策の実施、各種安全対策を自主的かつ継続的に推進した。   | ○    | ●再稼動したプラントの安全・安定運転に努める。<br>●引き続き、新規制基準に適合した安全性向上対策の実施、各種安全対策を自主的かつ継続的に推進する。                                   | P51<br>P52        |
| 火力発電所の熱効率の維持・向上(低位発熱量基準)                                       | 熱効率の維持・向上                                    | 熱効率:48.3%  | ○    | ●適切な設備管理や高効率な設備運用により、熱効率の維持・向上を着実に推進する。   | P52               |
| 再生可能エネルギーの開発・普及  | 再生可能エネルギーの開発と普及の促進<br>[開発目標:2030年に50万kW程度]   | ●再生可能エネルギーの開発:1ヵ所、500kW* <sup>3</sup><br>(累計:107,934kW 進捗率:約22%)<br>●再生可能エネルギー発電からの電気の購入量:58.5億kWh                           | ○    | ●再生可能エネルギーの開発への積極的な取組みと、電力系統への受入れの着実な対応により、再生可能エネルギーの普及・拡大に貢献する。  | P52<br>P53        |
| お客さま・社会のエネルギー利用高度化への貢献   | お客さま・社会のエネルギー利用高度化への貢献                       | エネルギー利用高度化に資する機器の普及拡大、サービスの送達(しょうよう)活動に取り組んだ。<br>●スマートメーター導入:182万台/年(累計:932万台 進捗率:約72%)<br>●はぴふみる電加入件数:約196万件/年(累計:約398.8万件) | ○    | ●お客さまの省エネ意識の高まりや幅広いニーズにお応えするため、スマートメーターの導入および、省エネ・省コスト・省CO <sub>2</sub> に資する情報発信をおこなう。                        | P54<br>P55        |
| 海外発電事業を通じた低炭素社会実現に向けた貢献* <sup>4</sup>                          | 海外発電事業を通じた低炭素電産の拡大                           | ●水力案件:2件* <sup>5</sup><br>●再生可能エネルギー案件:1件* <sup>6</sup><br>●GSEP**枠組み下での送出国支援活動:2件   | -    | ●海外における水力案件の着実な推進および再生可能エネルギー案件への参画検討を進めることで、低炭素社会の実現に貢献するとともに、GSEP枠組み下での送出国支援活動を継続する。                        | P56               |
| SF <sub>6</sub> ガスの排出抑制(暦年値)(機器点検時・撤去時のガス回収率)                  | [点検時]:97%<br>[撤去時]:99%                       | [点検時]:99.6%<br>[撤去時]:99.3%   | ○    | ●回収装置の適切な運用等による着実なSF <sub>6</sub> ガス回収を実施する。  | -                 |
| <b>循環型社会の実現に向けた活動の展開</b>                                       |  |  |      |   |                   |
| 産業廃棄物リサイクル率の維持   | 99.5%  | 99.9%  | ○    | ●ゼロエミッション達成に向け、産業廃棄物リサイクル率の維持に係る取組み等を推進する。  | P57               |
| PCB廃棄物の適正処理  | 法定期限内での全量処理                                  | 高濃度PCB処理量:239台* <sup>8</sup><br>(累計:5,073台 進捗率:約95%)   | ○    | ●PCB廃棄物の適正な管理のもと、法定期限内での安全・確実な全量処理を実施する。  | P57               |
| <b>地域環境保全対策の推進</b>   |  |  |      |   |                   |
| 発電電力量あたりの硫黄酸化物(SO <sub>x</sub> )、窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )排出量の維持 | SO <sub>x</sub><br>NO <sub>x</sub>           | 世界で最も少ない水準の維持<br>会社:0.028g/kWh<br>火力:0.039g/kWh<br>会社:0.055g/kWh<br>火力:0.077g/kWh  | ○    | ●排煙脱硝装置、排煙脱硝装置の適切な運用等により、世界で最少レベルの排出量(排出原単位)を維持する。  | P58               |

| 項目              | 事務所電気使用量の削減 | 生活用水使用量の削減 | 車両燃費の向上 | コピー用紙使用量の削減 |
|-----------------|-------------|------------|---------|-------------|
| 2010年度以降の推移(抜粋) |             |            |         |             |

\*1 国連(販売)電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量 \*2 暫定値であり、正式には地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、国がCO<sub>2</sub>排出削減の実績を公表  
\*3 高志川第二発電所1号機(500kW、5万kW) \*4 2018年度計画から追加 \*5 インドネシアのジャヤマンダック水力発電(4MW)、フィリピンのナムニアップ水力発電(29MW) \*6 アイルランド風力発電事業(128MW)  
\*7 GSEP: Global Sustainable Electricity Partnership(世界電力協会の会連) \*8 中国特設・環境安全株式会社(UESCC)に処理を委託した高圧トランス、コンデンサ等の電気機器の処理実績台数。

事業活動に伴う主な環境取組み項目

オフィスの省エネ・省資源活動

## エコ・アクション(年度目標・年度実績)【グループ会社】

当社グループ会社の具体的行動計画「エコ・アクション」

| 項目              | 2016年度<br>実績*        | 2017年度 |                                  | 評価(増減説明)  |
|-----------------|----------------------|--------|----------------------------------|---|
|                 |                      | 目標     | 実績*                              |   |
| 事務所電気<br>使用量の削減 | 60.5百万kWh            | 極力低減   | 62.1百万kWh<br>(2.7%増加)            | 各社でオフィスでの節電に取り組みましたが、事務所の拡張、工場や設備の稼働増、業務量の増大等により、全体としては前年度より増加しました。         |
| 生活用水<br>使用量の削減  | 248.4千m <sup>3</sup> | 極力低減   | 246.4千m <sup>3</sup><br>(0.8%削減) | 冬季の融雪利用増等により使用量が増加した会社もありましたが、各社でオフィスでの節水に取り組んだ結果、前年度より使用量を削減できました。         |
| 車両燃費の<br>向上     | 9.25km/ℓ             | 極力向上   | 9.38km/ℓ<br>(1.4%向上)             | エコドライブ、アイドリングストップの励行、低燃費車導入等の取組みにより、前年度より燃費が向上しました。                         |
| コピー用紙<br>使用量の削減 | 902.5t               | 極力低減   | 867.8t<br>(3.9%削減)               | 業務量の増加により、使用量が増加した会社もありましたが、各社での両面コピーやレスペーパーなどの取組みを徹底した結果、前年度より使用量を削減できました。 |

※ 2016年度、2017年度ともに42社を対象に算出。( )は対前年度比。